

科学的データ分析に依拠した 経済分析の実際

講師： 佐野 晋平(千葉大学法政経学部 准教授)
 小林 弦矢(千葉大学法政経学部 准教授)

演題1 佐野晋平「エビデンスに基づく政策と経済学」

演題2 小林弦矢「マーケティングの統計モデル」

近年、科学的データ分析の結果(客観的な根拠=エビデンス)に基づいて政策立案すべきであるという「エビデンスに基づく政策(Evidence Based policy)」が英米両国から発し、世界各国で標準的な政策策定の手法として定着しつつあります。そのような中、本講座では、法政経学部所属の経済学者と統計学者により経済データ分析と政策立案の実際について、一般の皆様にもわかりやすく、解説を行います。

登壇者1(佐野晋平)は、雇用問題と教育問題を例にとり、エビデンスに基づく政策策定、その背後にある経済学の考え方と科学的データ分析により原因と結果の関係に迫る手法について論じます。

登壇者2(小林弦矢)は、マーケティング意思決定において重要な、顧客や消費者の嗜好や反応を定量的に評価するために有用な統計モデルについて講義をします。

- 開催日時 平成29年 **11月5日**(日)9:30~11:30
- 開催場所 千葉大学人文社会科学系総合研究棟2階
マルチメディア会議室
- 受講料 **無料** (事前申込不要、座席数80席)

<スケジュール>

9:30 ~ 10:20	公開講座	講師:佐野 晋平 准教授
10:20 ~ 10:25	質疑応答	
10:25 ~ 10:35	休憩時間	
10:35 ~ 11:25	公開講座	講師:小林 弦矢 准教授
11:25 ~ 11:30	質疑応答	

- 主催 / 千葉大学法政経学部
- 共催 / 千葉大学法政経学会
- 後援 / 千葉県教育委員会・千葉市教育委員会

担当講師紹介



佐野 晋平

東京都立大学 経済学部 卒業
大阪大学大学院経済学研究科修了 博士(経済学)
現在 千葉大学 法政経学部 准教授(専攻 教育経済学・労働経済学)

『経済理論をベースに、データと統計的手法を用い、日本の教育制度、雇用制度に関する諸問題を分析しています。』

(業績)

THE EFFECT OF DEMOGRAPHIC CHANGE ON PUBLIC EDUCATION IN JAPAN, THE ECONOMIC CONSEQUENCES OF DEMOGRAPHIC CHANGE IN EAST ASIA, NBER-EASE, VOL.19
CHILD POVERTY AS A DETERMINANT OF LIFE OUTCOMES: EVIDENCE FROM NATIONWIDE SURVEYS IN JAPAN, SOCIAL INDICATORS RESEARCH, VOL.99, No.1, PP.81-99



小林 弦矢

神戸大学 経営学部 卒業
神戸大学大学院経営学研究科修了 博士(経営学)
現在 千葉大学法政経学部 准教授(専攻:ベイズ統計学)

「ベイズ統計学の枠組みの中で新しいデータ解析の手法について研究しています」

業績

・BAYESIAN ENDOGENOUS TOBIT QUANTILE REGRESSION, Bayesian Analysis, 12, 161-191.
・A TRANSDIMENSIONAL APPROXIMATE BAYESIAN COMPUTATION USING THE PSEUDO-MARGINAL APPROACH FOR MODEL CHOICE, Computational Statistics & Data Analysis, 80, 167-183.



千葉大学西千葉キャンパスまでの
交通アクセス

- JR総武線「西千葉駅」下車(徒歩約10分)
※西千葉駅には快速電車は停車しません
のでご注意ください。
 - 京成千葉線「みどり台駅」下車(徒歩約10分)
- 自動車での入構はご遠慮ください。



国立大学法人 千葉大学 法政経学部
千葉市稲毛区弥生町1番33号
TEL 043-290-2350
URL <http://www.le.chiba-u.ac.jp/>